**令和5年度　学校目標　「We love Himeshima , and open the way to the future!」**

（姫島を愛し、未来をともに切り拓く　子どもの育成）達成のためのお願い

姫島村立姫島中学校

校長　河野　一也

本年度、姫島中学校は学校教育目標を「We love Himeshima, and open the way to the future!（姫島を愛し、未来をともに切り拓く！）」と定め、下記の重点目標を掲げ、その達成にむけて職員一同頑張ってまいりました。おかげさまで、お子様たちは文武両道見事な成績を残してくれました。大変感謝申し上げます。今年度末の学校評価をいたしました。この学校評価とは学期ごとに教職員、児童、保護者の皆様へのアンケート結果等をもとに教職員が学校自己評価をおこない、それを学校評議員（本校はPTA会長・副会長２名・地域の方３名）の方々に適切かどうか意見や感想をいただいたものです。学校評価につきましては、評価終了ごとにお伝えしていきます。（地域の方等にはホームページにて公開いたします。）この学校評価をもとに、反省・改善をおこない次年度も更なる向上をめざして頑張ってまいりたいと思います。一年間、目標達成のために保護者の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。

姫島中学校 校長 河野一也

* 学校と家庭と地域が連携しながら、姫島中学校の生徒たちを育てていきましょう。
* そのためには、重点目標・達成指標・重点的取組・取組指標を以下のように設定しています。主に学校で取り組むこと（重点目標１～４）と主に家庭でも取り組んでいただきたいこと（重点目標５）がありますので、ご協力ください。

重点目標・・・学校の教育目標実現のための重点的な目標

重点目標１　"基礎基本の定着と読解力の向上"

重点目標２　"他者と協働した問題解決能力の育成"

重点目標３　"自己調整し主体的に粘り強く取り組む力の育成"

重点目標４　"業務改善・効率化"

重点目標５　"姫島を愛する子の育成"

達成指標・・・・・重点目標それぞれについて、**目指すべき子どもの姿**

重点的取組・・・・・目指す子どもの姿に**近づくための重点的取組**

《取組指標》・・・重点的取組について、**具体的な取組内容**

* 取り組みの結果を学期ごとにお知らせいたします。取り組み内容の改善などありましたら、そのときにご意見をお聞かせいただき改善方法を一緒に考えていきたいと思います。

***評価基準　S・・・目標に対して達成率が１００％以上　A・・・目標に対して達成率が８０％～１００％***

***B・・・目標に対して達成率が８０％未満***

***各重点目標に対して、達成指標のそれぞれの評価基準をもとに、自己評価をつけています。***

**重点目標１　"基礎基本の定着と読解力の向上"　自己評価S**

**達成指標**・・・・・重点目標それぞれについて、**目指すべき子どもの姿**

○定期テストにおける3割未満の生徒の出現率を10％以下にする。（学年末評価）達成率　１０９％

○下記の生徒アンケートにおいて、肯定的な割合を９０％以上にする。

・授業アンケート③「授業内容がよくわかる」　　　（学年末評価）達成率　１１０．５％

|  |  |
| --- | --- |
| **重点的取組** | **取組指標　（学校）** |
| ○新大分スタンダードに基づく授業改善 | ○授業者は、毎時間の振り返りにより、教科に関する言葉の理解・付けたい力（評価規準）の理解状況の見取りを行い、次時に活かす。○授業者は、指導案において、キャリア教育の四つの視点に基づく活動を位置づける。 |
| ○個別指導の徹底 | ○教科担当は毎時間の授業の理解度をチェックし、個に応じた指導を計画的に行う。 |

**重点目標２　"他者と協働した問題解決能力の育成"　自己評価A**

**達成指標**・・・・・重点目標それぞれについて、**目指すべき子どもの姿**

○以下のアンケートを基に、学校生活が充実していると感じる生徒を６０％以上にする。

　※2学期末までは、「とてもそう思う」と「そう思う」生徒の割合にしていましたが、今回から、「とてもそう思う」と答えた生徒の割合を増やすこととしました。

・生徒アンケート⑧「学校生活が楽しい」　　　　　（学年末評価）達成率　９５％

・生徒アンケート⑫「学級や生徒会活動に、友だちと協力して積極的に取り組むことができた」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学年末評価）達成率　９５％

|  |  |
| --- | --- |
| **重点的取組** | **取組指標　（学校）** |
| ○生徒会活動の充実 | ○専門部担当者は、毎月の専門部会で取組の振り返りを行い、それをもとに生徒に改善策を考えさせ、学校や学級で取り組ませる。 |
| ○よりよい人間関係の醸成 | ○担任や、生徒会担当者は、月に２回以上、人間関係づくりプログラムなどの活動を、授業や集会等で取り入れる。 |

**重点目標３　"自己調整し主体的に粘り強く取り組む力の育成"　自己評価A**

**達成指標**・・・・・重点目標それぞれについて、**目指すべき子どもの姿**

○下記の生徒アンケートにおいて、肯定的な割合を９０％以上にする。

・生徒アンケート⑱「自分の生活習慣を見直し、改善する事ができた」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学年末評価）達成率　８８．９％

・生徒アンケート㉑「体力向上のためのメニューに毎時間取り組むことができた」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学年末評価）達成率　９８．７％

|  |  |
| --- | --- |
| **重点的取組** | **取組指標　（学校）** |
| ○望ましい生活習慣の確立 | ○養護教諭は、健康カードをチェックし、その状況を担任等と共有し、保護者と連携しながら改善に取り組む。○栄養教諭は、学期に１回以上食育の授業と定期的な給食時の指導をする。 |
| ○体力の向上 | ○教職員は、生徒に毎月１回の全校体育「やはずタイム」に取り組ませ、生徒の体力向上への意識を高めさせる。○教職員は、体育の授業や部活動で毎時間体力向上のための練習メニューを取り入れる。 |

**重点目標４　"業務改善・効率化"　自己評価S**

○「業務改善・効率化により負担軽減を実感している」と回答する教職員９０％以上

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学年末評価）達成率　１１１．１％

|  |  |
| --- | --- |
| **重点的取組** | **取組指標　（学校）** |
| ○ICTアドバイザーの活用推進○チーム学校の確立推進○ノー残業をめざす | ○教職員は、授業準備やホームページ管理等に月２回来校するICTアドバイザーを活用して、業務改善を図る。○教職員は、職員朝会や職員会議で生徒の情報交換や共通理解を行い、気になる生徒へチームで対応する。 |

**重点目標５　"姫島を愛する子の育成"****自己評価A**

**達成指標**・・・・・重点目標それぞれについて、**目指すべき子どもの姿**

○下記の生徒アンケートにおいて、肯定的な割合を８０％以上

・生徒アンケート㉒「地域に関心を持ち、地域行事に参加することができている」

|  |  |
| --- | --- |
| **重点的取組** | **取組指標　（家庭・地域）** |
| ○学びや成長の共有 | 〇保護者は学期に1回以上「ふるさと科や学校行事での活動内容等を、家庭で話題にしている。」（学年末評価）達成率　９７．１％ |
| ○学習に向かう環境整備 | ○保護者は「情報機器類の使用に関する「親子の約束」を守るよう週1回以上声かけをしている。」　　　　　　　　　　（学年末評価）達成率　７０．０％ |
| ○ふるさと科への参画 | ○教職員は、１・２学期に「はがき新聞」に、３学期は「防災について」に取り組ませ、地域への理解を深めさせる。　　　　　　　　　　（学年末評価）達成率　１００％ |

2月２２日に評議員会にて、自己評価が適正だと認められました。本年度の成果と課題を受けて、来年度新体制で、学校運営を行いたいと思います。今後もご協力よろしくお願いいたします。

|  |  |
| --- | --- |
| 意見聴取事項等 | １．説明・報告（１）各学年の取組状況と、今後の取組について（各学年長）　１年生・・・授業規律はほぼできている。自己表現をあまり出さない。休み明けに起きづらい生徒が出てきている。　２年生・・・言葉遣いが荒い面がみられるが、友人関係は良好。いじめもない。新研究の学習がスタートしたので、一年後を見据えて進路指導をし始めている。　３年生・・・地域との連携で3年生がリーダーとなり、区長と連絡を取り合いながら姫島盆踊りに参加できた。進路実現に向けて、体験入学・説明会・外部講師・先輩の話などから具現化するように指導した。ICTの活用も生徒自身が自分の学習に活用することができるようになっている。（２）村学力診断テストについて、経年比較にて、かなり改善しているとの評価を得た。　（３）学校評価の４点セットについて、　取組状況について説明、了承。２．協議・情報交換（質問・意見・要望など） (１)学習面　　・進路達成ができそうか。→全員達成に向けて全力で指導している。　　　・加配はどうなるのか。TT（チームティーチング）で成果が上がっていることがうかがえるので、ぜひとも加配をお願いしたい。（２）部活動　　・運動部は維持していくことが難しいと思うが、いい成績を残していってほしい。　　・オーストラリアでは、曜日でいろいろな種目を体験していた。一つの競技に絞らないで運動させるのも一つの手ではないか。 |